

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ことばの教室ことのは別館		公表日		令和 8年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	個室やカーテンによる区切りを活用し、こどもの状況や活動内容に応じて個別活動や集団活動が行えるよう環境を調整しています。また、会議等の開催も可能なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	利用定員やこどもの状態に応じて、ガイドラインに沿った職員配置を行っています。また、こども一人ひとりに目が行き届くよう、手厚い配置を心がけながら安全に配慮した支援体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	活動内容やこどもの状況に応じてスペースを分けるなど環境の構造化を行うとともに、段差のある場所では職員が見守りや声掛けを行い、安全に配慮した支援を行っています。	トイレ、入口の段差があり大人の見守りが必要となっていますがそれ以外の環境はフラットになっておりバリアフリー化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	こどもが活動内容を理解しやすいように、活動スペースや遊びの場所を分けるなど環境の構造化を行っています。また、視覚的に分かりやすい表示や写真・イラスト等を用いて、こどもが自分で行動しやすい環境づくりを心がけています。安全面にも配慮し、危険箇所の確認や動線の確保を行うとともに、こどもの特性に応じて落ち着いて過ごせるスペースを設けるなどの工夫を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	子どもが落ち着けるようにカーテンが設置されている個室を使用したり等の配慮をしています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	職員会議やミーティングの場を通して目標設定や振り返りを行い、職員全体で業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		保護者の評価表を職員間にて共有を行い必要に応じて改善したいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	職員が気づいた点や意見を出しやすい環境づくりを心がけ、職員間で情報共有を行いながら支援の質の向上や業務改善に取り組んでいます。	定期的な管理者との面談をしっかりと行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2	研修内容を職員間で共有し、日々の支援に活かせるよう取り組んでいます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	支援プログラムについては事業所として作成し、公表しています。一方で、職員の回答に「いいえ」が見られたことから、支援プログラムの内容や公表状況についての職員間での共有が十分でなかった可能性があるため、今後は改めて周知を行い、理解の促進に努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1	こどもや保護者からの聞き取りを行い、状況を把握した上で支援計画の作成に活かしています。日々の様子も5領域に沿って記録し、ご利用の際には毎回保護者の方へも丁寧に報告しています。その日の利用児童の様子は都度、職員間で共有することでより適切な支援につなげています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	定期的に見直しを行い、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士が評価することでより専門的に子どもの発達段階に合わせて共通認識をもって関わることができています。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	個別支援計画の内容を職員間で確認しながら、こどもの状況や発達段階に応じた支援が行えるよう連携して取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1	児童に合った支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	活動プログラムについては、職員間で話し合いながら計画を立てています。こども一人ひとりの特性や興味関心、発達段階を踏まえた内容となるよう、職員同士で意見交換を行いながら立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	こどもの興味関心に合わせた活動内容を取り入れるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	個別での課題活動や、集団での遊び・活動などをバランスよく取り入れ、こどもの成長や社会性の向上につながるよう支援内容を工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	こどもの体調や様子などの情報を職員間で共有し、状況に応じて支援方法や役割分担を調整しながら、安心して過ごせる環境づくりに努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	その日のこどもの様子や支援の中で気づいた点を職員間で共有し、次回の支援方法の検討や対応の統一につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	こどもの様子や活動内容、支援の経過などをできるだけ具体的に記録し、職員間で共有することで、継続した支援やより良い支援方法の検討につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	日々、こどもの様子や支援記録をもとに職員間で情報共有を行い、状況の変化に応じて支援内容の見直しを行えるよう取り組んでいます。	定期的にモニタリングを実施し、こどもの状況や支援の達成状況を確認しながら、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しています。必要に応じて計画の見直しを行い、こどもの成長や状況に応じた適切な支援につなげています。
関係機関や保護者	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者が主に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		必要な児童が利用を行う際には検討してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	必要に応じて行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	就学にあたっては、こどもたちが安心して新しい環境に進めるよう小学校や特別支援学校との情報共有を行っています。必要に応じてこどもの様子やこれまでの支援内容をまとめた情報提供書を作成し、就学先へお伝えしています。また、状況に応じて学校や関係機関との話し合いの場を設けるなど、連携を図っています。今後も、保護者の皆さまと連携しながら安心して就学できるよう支援してまいります。	
28	(28～30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					

こ の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3	現在は地域の児童発達支援センターよりスーパーバイズや助言等を受ける機会は設けていませんが、必要に応じて連携を図り、助言や研修を受ける機会を設けていけるよう検討していきたいと考えています。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	10		現状では交流の機会は多くありませんが、地域資源の活用や行事等を通して、地域との関わりを持てる機会づくりについて今後検討していきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時等にて日々の様子等を確認しており、課題等も共通理解が来ています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		今後は研修会の開催等も検討したいと思います。		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時に管理者より説明を行っています。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1	日々、保護者との共有を行っており、こどもへの聞き取り等も行い計画書を作成しています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	児童発達支援管理責任者より説明を行っています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者よりご要望があった際には対応しています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2		保護者が参加しやすいよう内容や時間帯を工夫し、保護者同士が気軽に交流できる機会づくりを心がけています。また、きょうだい児も参加できるよう配慮しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	定期的に活動内容等ブログを更新しています。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	施錠できる棚に保管する等配慮しています。	職員間でも個人情報の取り扱いには注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	こどもの特性に応じて、視覚的な支援や分かりやすい言葉かけを行うなど、意思疎通が図りやすいよう工夫しています。また、保護者には送迎の際の申し送りや、公式LINE等、必要に応じて面談等を通して丁寧な情報共有を行っています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3		地域住民を招待する行事の実施は現状難しい面もありますが、地域とのつながりを大切に、地域資源の活用を行っています。児童館や図書館などの地域施設を利用する機会を設け、こどもたちが地域の中で活動できるよう取り組んでいます。今後も地域との関わりを意識した事業運営に努めていきます。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各種マニュアルは作成・更新し事務所にて保管しています。	事務所へ保管しており、保護者への周知に課題があります。		
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	業務継続計画を作成し適宜更新を行い、定期的に避難訓練を実施しています。			

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの健康状態については、契約時のアセスメントで保護者から聞き取りを行うとともに、相談支援専門員等からの情報共有を通して確認しています。必要な情報は職員間で共有し、安全に配慮した支援につなげています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	アレルギーの有無や注意点を職員間で共有し、活動時や食事・おやつ提供時には十分に確認を行うなど、安全面に配慮しています。	食物アレルギーのあるこどもについては、保護者からの聞き取りや必要に応じて医師の指示書を確認し、内容に基づいた対応を行っています。職員間でも情報を共有し、誤食や事故の防止に努めています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画も作成しており、定期的に点検等を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		保護者に周知がされるように事業所内の玄関付近に掲示を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	ヒヤリハット発生時には終礼にて状況の確認を行い書面に残す事で情報共有を行い再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に動画研修を視聴するなどし、研修機会を確保しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	身体拘束の事例が発生した際は法人内の委員会にて対応を協議しています。	